

第1回検討会 委員意見振り返り

<テーマ1「千代田区の良いところ、好きなところ」について>

- 千代田区は交通の利便性がとても良く、自然や緑が豊かで、文化的なものも多い。
- 千代田区には文化遺産や歴史的建造物が沢山ある。
- 千代田区の良いところはアクセスが良いところ。
- 千代田区は福祉サービスも充実しており、例えば千代田区ヘルプカードには番号が付与されており、緊急時や災害時、所持者の氏名や連絡先を照会することができ、配慮あるサービスが受けられる。
- 区内には大学も多く学生街という特徴もある。

<テーマ1「九段生涯学習館の良いところ、好きなところ」について>

- 生涯学習館は立地の良さ、交通の便が良いので、その利点を活かしたい。
- 九段生涯学習館で活動をしているが、どの程度今までのような形で活動ができるのかということが心配である。
- 施設の受付の方々の対応が非常に明るくて、対応も早い。
- 現在の生涯学習館の職員の方々が大変良く、対応も早い。
- 職員の方々の窓口対応が良く、施設の使い勝手も良い。
- 在勤者の方々にとってもサークル活動で九段生涯学習館を利用しやすく、若い世代の利用者を取り込み活性化へつなげられるのではないかな。
- 週末の九段生涯学習館では子ども連れの利用者も多く、今後は楽しみである。

<テーマ2（仮称）新九段生涯学習館のめざす姿や基本方針について>
● 新九段生涯学習の施設の規模はどれくらいになるのか。縮小、拡張によって入れ込める内容も変わってくる。
※テーマ1の際のご発言 ● 音楽関係については、複数の音楽活動をしている団体が利用できるようなミニホールを希望する声を聞いている。
● 新九段生涯学習館には音楽活動で利用できる新しいホールを整備してもらえたらと思っていたのだが。既存のレクリエーションホールは使い勝手は良いが、広さがやや十分でない。
※テーマ1の際のご発言 ● 「生涯学習」は本来若者から老年まで対象であるはずだが、リタイアした世代の人が学ぶイメージがあり高齢者の施設とってしまう。また、生涯学習館の利用者の年齢が高齢へシフトしているのではないかと感じている。今後は、若い世代の利用を見据えて IT・デジタルを活用できる施設が必要ではないか。
● 千代田区のことを紹介するときに必ず「歴史と文化の街」と言われる。また、「教育と文化のまち千代田区宣言」で掲げている「歴史に培われた郷土の文化遺産を子どもたちに伝え」とあるが、実は全然伝えていないと思う。 ● 新九段生涯学習館ではそうした情報発信の場が必要なのではないか。発信の場を設けるためには、今まで以上の施設規模の拡大が望まれる。 ● 千代田区には公共・民間の場を含めて、発表する場が少ないことがネックになっている。
● 立地条件は良いので、施設の文化的なものがเพิ่มด้วยて若い世代の利用者が増えることになる。
※テーマ1の際のご発言 ● 若い世代を取り込むということが色々な活性化につながると思うので、若い人たちが集えるような場所にしてほしい。
● 生涯学習のやり方として、仲間づくりをするというのはもちろんだが、子どもたちの遊び場づくりも取り入れていくべきではないか。 ● サークル数は年々減少し、利用者が高齢化していきるので活性化は難しい。 ● 利用が少ないと思われる麹町の若者を引き込みたい。
● 新しい建物については、現況の各室の稼働率を踏まえて施設配置を検討した方がよい。 ● 「かがやきプラザ」は 60 歳以上を対象とした、サークル活動もできる施設だと聞いている。九段生涯学習館と機能がかぶる部分があると思うので、新九段生涯学習館はターゲットを若い人たちにした施設にしてはどうか。例えばカフェスペースや運動スペース、シャワースペースなど。 ● 若い人たちにとって使い勝手の良い、仕事の後に使って、帰宅後そのまま寝られるような、使い勝手の良い仕組みづくりができる施設になればよい。